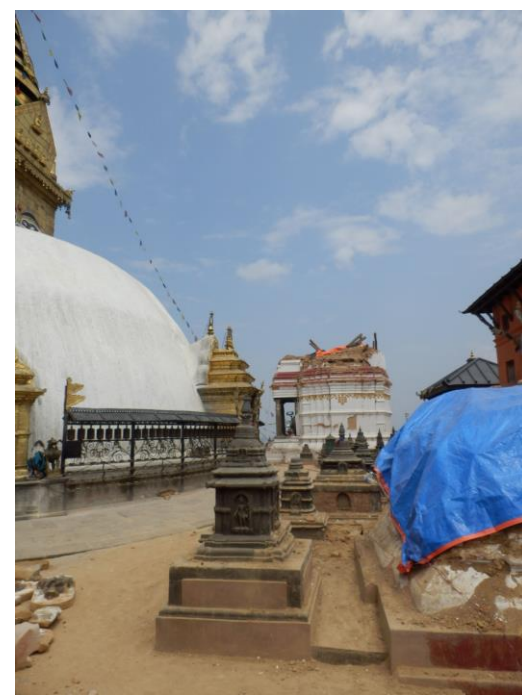


2015 ネパール地震報告会

(被害状況・意識調査・支援活動)

ネパール地震により、**500,000棟**の建物が大きな被害を受けた。そして、建物の倒壊等により2015/5/30現在、**8,691名が死亡し22,000名以上が負傷し**、ネパール史上最大の国難をもたらした。東京都市大学環境学部のリジャル准教授と岡田准教授は5/17～5/24でネパール現地（カトマンズ盆地とダーディン郡サツレ村）に入り、被害状況の視察、意識調査、支援活動、トリブバン大学との話し合いなどを行った結果についてご報告致します。お時間がありましたら、是非ご参加して下さい。

～被害状況～



崩れた都市部の古い建物と世界遺産



倒壊した新しい建物と地盤沈下した道路



ほぼ全壊したサツレ村の家屋と家の中に見られるひび割れ



殆ど崩壊した校舎・設備・教材

～支援活動～



60軒に480枚のトタンの配布



5軒のかまぼこ形仮設住宅の建設



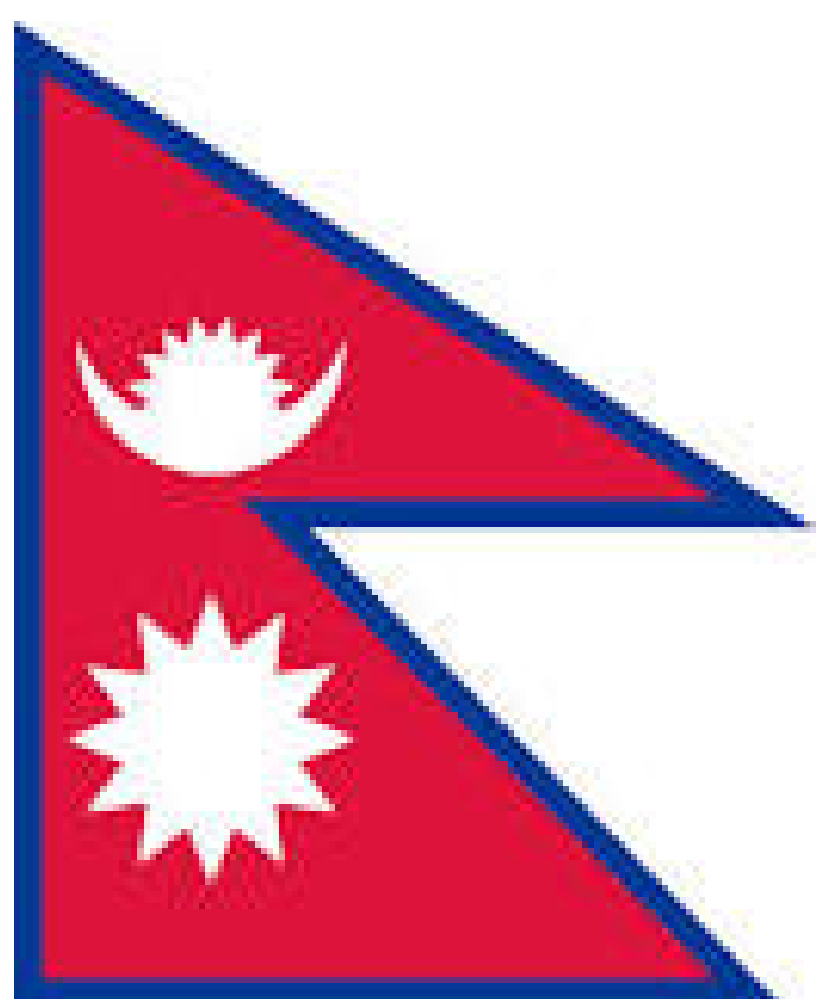
学校に2つのテントの設置



20mの黒板の支援



ノート・ペンの配布



●日時: 2015年7月8日(水) 12:40～13:30

●場所: 東京都市大学 横浜キャンパス 3号館2階 32A 教室

●プログラム

12:40～ 開会の挨拶

吉崎 真司 副学長・環境学部長・教授

12:45～ 地震の被害状況

岡田 啓

13:00～ 意識調査報告

リジャルH.B.+岡田 啓

13:10～ 支援活動報告

リジャルH.B.

13:30～ まとめ

岡田 啓